



～ 救急搬送について～

新年号『令和』がスタートし初となる年越しを迎え、また新たな気持ちで職員一同これからもご利用者の皆様が安心して過ごせるよう努めて参りたいと思います。本年もどうぞよろしくお願い致します。

さて、皆様『救急搬送』について考えた事はあるでしょうか？救急搬送は救命を大きな目的としております。その為、救急搬送をすることによって、家族の望まない延命処置が施されてしまったという事が全国的にも数件あるという事を耳にすることがあります。一般的に救急搬送を行う事によってどういった事が施され、どういった事を救急隊員や医療機関が求めるのか？また、救命措置をとった後にどの様なことが予測されるのか？という事を知るという事を目的に特養、グループホーム入居者のご家族を対象に昨年末の施設内の大掃除後に茶話会を行いました。普段は、あまり深く考える事のなかった『救急搬送』について学ぶことによって、参加されたご家族より「自分の親の事もあるけど、自分の事として考えておく必要があるね」「救急搬送を望むという事は、その後どの様な状況になるのか知ることが出来て良かった。」などのご意見を頂きました。今回、スタッフもご家族と一緒に改めて命を考えるきっかけとなりました。

今回の白鳥ニュースでは、皆様にも読んでいただければと思います、当日使用いたしましたパワーポイントの資料を同封させていただきます。この機会に是非、我がこととしてお考えいただければ幸いです。

リハビリセンター白鳥の今をお伝えするニュースを、定期発行させていただきます。
是非、お目通しください。

リハビリセンター白鳥 職員一同